

授業科目名	治療検査と看護			担当教員	千原 明美	
開講年次	2年前期	セメスター	3	時間数(単位数)	30 (1)	
必修選択	必修	授業形態	演習	使用教室		
授業の目的	治療や検査の概要を学び、看護職者の役割と援助方法について習得する。					
到達目標	1. 治療・検査の目的及び方法を理解するとともに、治療等に伴う日常生活への影響および苦痛を理解できる。 2. 基本的な療法の目的及び方法を理解し、それら療法を受ける対象に必要な援助技術を理解できる。 3. 診療における治療・検査について、看護者が果たすべき役割を考察できる。					
授業計画						
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)	取組時間	担当者	
1	【ガイダンス】 【治療、検査の概念】 意義、目的、看護の役割	講義	予習：臨床検査 「臨床検査の基礎」 p 4～58	1時間	千原	
2	【生体機能検査1】 検体検査と看護 (血液/尿/便/喀痰検査)	講義	予習：事前課題提示 復習：事後課題提示	2時間	千原	
3	【生体機能検査2】 呼吸機能検査と看護 経皮的動脈血酸素飽和度測定 肺機能検査 (スパイロメーター) 血液ガス検査	講義 演習	予習：事前課題提示	2時間	千原	
4	【生体機能検査3】 循環機能検査と看護 12誘導心電図 心電図モニター	講義 演習	予習：事前課題提示	2時間	千原	
5	【生体機能検査4】 画像診断と看護 (X線単純撮影, 消化管造影, 脳血管造影, 心血管造影, CT検査, MRI検査, PET 検査, 核医学検査)	講義 演習	予習：事前課題提示	2時間	千原	
6	【生体機能検査5】 内視鏡検査と看護 (上部消化管 内視鏡検査, ERCP検査, 大 腸内視鏡検査, 気管支鏡検査, 膀胱尿道鏡検査) 超音波検査と看護 (心エコー検 査, 乳房超音波検査, 腹部超 音波検査)	講義 演習	予習：事前課題提示	2時間	千原	
7	【治療を受ける患者への看護1】 輸液療法を受ける患者への看護 ME機器 (輸液ポンプ・シリン ジポンプ)	講義 演習	予習：事前課題提示	1時間	千原	
8	【治療を受ける患者への看護2】 輸血療法を受ける患者への看護	講義 演習	予習：臨床検査「輸血に関する検査」 P 189～p 192, 臨床外科看護総論 「輸血療法」 p 124～p 136	1時間	ゲスト スピーカー	

9	【治療を受ける患者への看護3】 透析療法を受ける患者への看護 血液透析／腹膜透析	演習	予習：成人看護技術 「腹膜透析」 p 356 ～ p 359	1 時間	西山
10	【治療を受ける患者への看護4】 手術療法を受ける患者への看護① 手術療法とは 手術における生体侵襲 手術前患者の看護	講義	予習：臨床外科看護総論「手術前患者の看護」 p 228 ～ p 259	2 時間	千原
11	【治療を受ける患者への看護5】 手術療法を受ける患者への看護② 手術中患者の看護 手術室の環境管理	講義	予習：臨床外科看護総論「手術中患者の看護」 p 262 ～ p 304	2 時間	千原
12	【治療を受ける患者への看護6】 手術療法を受ける患者への看護③ 手術後患者の回復を促進する看護 合併症予防と発生時の看護	講義	予習：臨床外科看護総論「手術後患者の看護」 p 306 ～ p 353	2 時間	千原
13	【治療を受ける患者への看護8】 手術療法を受ける患者への看護⑤ 排泄ケア ストーマケア	講義	予習：成人看護技術 「排泄ケア」 p 214 ～ p 222	1 時間	西山
14	【治療を受ける患者への看護7】 手術療法を受ける患者への看護④ 創傷管理技術 排液管理とドレーン	講義	予習：臨床外科看護総論 「創傷治癒」 p 34 ～ p 51, 「手術後患者の看護」 p 319 ～ p 324	1 時間	千原
15	【まとめ】 治療、検査における看護のまとめ及びフィードバック	講義	予習：理解不十分な箇所について事前に学習しておく	1 時間	千原
先行履修科目					
テキスト	野崎真奈美 他編著：看護学テキスト NICE 成人看護技術. 南江堂, 2017. 矢永勝彦 他：系統看護学講座別巻 臨床外科看護総論. 医学書院, 2017. 奈良信雄 編：系統看護学講座 別巻 臨床検査. 医学書院, 2014.				
参考文献	有田清子 他編：系統看護学講座専門分野1基礎看護学〔3〕基礎看護技術Ⅱ. 医学書院, 2017. 香春知永 他：系統看護学講座専門分野1基礎看護学〔4〕臨床看護総論. 医学書院, 2016. 神田清子 他：検查看護技術. ヌーヴェルヒロカワ, 2006. 石塚睦子 編著：よくわかる周手術期看護. 学研メディカル秀潤社, 2017. 杉本由香 監修：Nursing Canvas Book 8 生体検査・検体検査・看護技術. 学研メディカル秀潤社, 2016.				
科目の位置づけ	本科目は、疾病を持つ患者さんが受ける主な臨床検査と治療法について学習します。各検査と各治療について学ぶためには、人体の構造と機能に加え、さまざまな疾患の病態生理を理解しておく必要があります。そのため、先行履修科目を中心に、これまで学んだ知識を十分に復習した上で履修して下さい。 本科目で学んだ知識を、これから臨地実習で受け持つ患者さんの実際の治療・検査を通して、深めて行ってください。				
ディプロマポリシーとの関連	人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探究する力
		◎		○	
評価方法	筆記試験 60%, 課題 40%				